

項目		説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	希少腫瘍の発症・予後に関する遺伝子の網羅的解析研究	
	研究目的	近年、多くのがん種でゲノム解析(子孫に受け継がれる遺伝情報を含む解析)などの研究結果から、がんの発症リスク、治療薬の効果や副反応と、腫瘍組織の遺伝子変異や患者ゲノムの遺伝子多型との関係が明らかになってきた。しかし、骨軟部腫瘍などの希少腫瘍では、十分な症例数での検討が行われていない。本研究では、骨軟部腫瘍患者を対象とし、腫瘍を用いて全ゲノム解析、全タンパク質解析など、網羅的な解析を行う。その結果から、骨軟部腫瘍発症関連遺伝子の同定や機能の解明、さらには、治療薬に対する効果、副反応との関連や予後などとの相関解析を行い、個々の患者さんに最適な治療を行う個別化医療の開発に役立てることを目的とする。	
	研究対象者	西暦 2024 年 3 月 31 日までに当センター骨軟部腫瘍外科にて手術を受けた患者さんで、包括同意書にて子孫に受け継がれる遺伝情報の解析に同意された方。	
	研究期間	西 暦 2014 年 9 月 5 日 ~ 西 暦 2024 年 3 月 31 日	
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	比留間 徹	
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	骨軟部腫瘍外科、臨床研究所	
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	東京大学医科学研究所・シーケンス技術開発分野	松田浩一
		国立がん研究センター中央病院・遺伝子診療部門	平田真
	日本肉腫ゲノムコンソーシアム (JSGC)	代表：松田浩一	